

企画展 新春 龍づくし

2011年12月27日(火)～2012年1月29日(日) 国際子ども図書館 ホール[3階]

2012年が辰年であることにちなみ、世界約30カ国の、龍が登場する絵本・児童書47点を展示します。
アジアの龍、中東の龍、アフリカの龍、ヨーロッパの龍…いろいろな龍をご覧ください。
普段目にする機会の少ない、多様な龍たちの姿をお楽しみください。

◎書誌事項について

- ・展示資料の書誌事項は、以下の順に記しました。
展示資料番号/資料名(日本語)/資料名(原綴)/著者等/出版地/出版者/出版年/当館請求記号(出版国・地域名)/解説
- ・書誌事項は原則として国立国会図書館の目録に従っています。
- ・資料名(日本語)は、本展示のために当館が付した参考訳です。(資料番号1-2を除く)
- ・請求記号は、NDL-OPAC(国立国会図書館蔵書検索・申込システム)に対応しています。(※印を除く)

展示中の本やその邦訳書、また関連する図書は、以下の方法によりご覧いただけます。

・請求記号の後ろに

- 印のある本⇒1階「子どものへや」でご覧いただけます。
 - ◆印のある本⇒1階「子どものへや」で邦訳書をご覧いただけます。
 - ★印のある本⇒2階資料室でご覧いただけます。
 - ▲印のある本⇒2階資料室でデジタル画像をご覧いただけます。(「近代デジタルライブラリー」)
- ・1階「子どものへや」、2階「第一資料室」で関連小展示を開催中です。
≫≫詳しくは各資料室でお尋ねください。

1 龍について、日本の龍

1) アーネスト・ドレイク博士の龍学:龍についての完全本

Dr. Ernest Drake's dragonology: the complete book of dragons/ Edited by Dugald A. Steer, B.A.(Brist),S.A.S.D. Dorking Templar 2003 Y5-B102 (イギリス)

龍学者協会出版の龍学の本。龍学者協会の性格は判然としませんが、龍は実在すると信じている団体のようです。世界の龍の種類、龍の生態、龍にまつわる伝説などが概観できます。

1-2) ドラゴン学:ドラゴンの秘密完全収録版

ドゥガルド・A.スティール著 こどもくらぶ訳 国立 今人舎 2005.10 Y2-N06-H95 (日本)

資料1の邦訳。

2) 龍

Драконы / Тим Аппензеллер; [перевод Е.Козловой]. Москва Терра 1996 Y17-A1107 (ロシア)

龍の百科事典ともいえる本です。龍の役割の説明もあります。東洋の龍の場合、「天の番人」「宝物の守護者」「天候の支配者」「川の支配者」などの役割が図示されています。

3) ナドとザンモ:ブータンの子ども

Nado and Zangmo : two children of Bhutan/ written and illustrated by Jigme Lodey. [Thimphu] UNICEF Bhutan 1996 Y2-A451 (ブータン)

ナドとザンモという名前の小学生の兄妹がブータンとそこでの暮らしを紹介しています。ブータンの国旗には龍が描かれています。これはブータン神話に出てくる雷龍です。ブータンの人々は自国を「ドゥクパの国」(雷龍の国)と呼んでいます。

4) エリック・カールの龍及び実在しなかった他の生き物たち

Eric Carle's dragons dragons & other creatures that never were / compiled by Laura Whipple. New York Philomel Books 1991 Y17-A6282 (アメリカ)

伝説上の動物を絵とともに紹介。龍は最初のページに登場し「西洋の龍は獐猛で、強く、知恵があり、欲深い。火を吐いて一般的には壊し屋さん。東洋の龍は獐猛で、強く、知恵があり、豊かで、きわめて慈悲深い。火の代わりに霧を吐く」と説明されています。

5) 昔話: 日本民話

Histórias de mukashi : contos populares do Japão/ Lúcia Hiratsuka, texto e ilustrações. São Paulo Editora Elementar [2007] Y17-B9440 (ブラジル)

表紙に描かれている龍は「湖の秘密」(pp.23-27)に出てくる龍です。村の若者のところに若い娘が訪ねてきて、ご飯が欲しいと言います。若者が与えると、娘はまた次の晩もやってきてご飯を求めます。娘は湖に住む龍でした。正体が知られてしまった娘は龍に姿を変えて湖に消えてゆきます。

6) ドラゴン・ボール(vol.1)

Dragon Ball / Akira Toriyama ; [Svensk text, Morgan Holm]. Swedish ed. Stockholm Carlsen Comics c2000 Y16-A139 (スウェーデン)

ドラゴン・ボールは各国で大人気です。本書はスウェーデン語版です。

7) ドラゴン・ボール: 百科事典

Dragon Ball : dictionnaire encyclopédique/ [Akira Toriyama ; traduction, Olivier Huet]. Éd. Française. Grenoble Glénat c1999 Y16-A132 (フランス)

フランスで翻訳・出版されたドラゴン・ボールの百科事典です。

8) 八頭ノ大蛇

The serpent with eight heads /told in English by B.H. Chamberlain 鮮齋永濯[画] Tokyo T.Hasegawa 1886.11 Y17-B3784▲ (日本)

「古事記」に出てくるスサノオノミコトの話です。明治時代に日本で出版された和紙を縮緬状に加工して作られた「ちりめん本」です。

9) 龍の子太郎

龍子太郎 / 松谷美代子著,王璞,林怀秋译 哈尔滨: 黑龙江人民出版社 1982.10 Y9-AZ389 (中国)

「龍の子太郎」は各国語に翻訳されています。中国語版です。

2 アジア、アフリカの龍

10) 龍の鍵

彩絵本中国民間故事: 回族; 白兔姑娘·插龙牌/ 籃承恺[等]绘画 北兴编文 杭州 浙江少年儿童出版社 1990.12 Y2-AZ563● (中国)

「插龙牌」(pp.26-41) 中国に住むイスラーム教徒の回族の民話です。日照りの村に雨を降らせてもらうため龍王を訪れた少年は、龍王を殺し、自ら龍となって雨を降らせます。モスクに集まる人々やお姫様の姿がイスラーム文化を感じさせます。

11) 七女洞

彩絵本中国民間故事: 布衣族; 凤凰情·七女洞/ 王大平等绘画 江音编文 杭州 浙江少年儿童出版社 1992.12 Y2-AZ607● (中国)

「七女洞」(pp.30-41) 貴州省に住む布依(プイ)族の民話です。人々の住むところを水浸しにする悪い龍を七人の姉妹が退治します。

12) 龍の歯が星に変わった

龍牙變星星/ 莊展鵬文, 阿興圖 台北 遠流出版 1993.3 Y17-AZ489 (台湾)

中国・ミャオ族に伝わる民話です。二匹の龍が喧嘩したために破れてしまった天を龍の歯を使って繕うというお話です。

13) 白頭山の天池

백두산 천지 / 최민오 그림, 정해왕 글 서울: 웅진닷컴 2003 Y17-AZ3774 (韓国)

白頭山にある湖・天池の由来についての民話です。むかし白頭山には悪い黒龍が住み人々を苦しめていました。村の若者が仙女の助けを借りて龍を退治します。その戦いの跡にできたのが湖・天池です。

14) アウ・コとロン・クアン

Âu Co Lạc Long Quân / Kê chuyện : Mai Long; Vẽ tranh : Mai Long, Phạm Ngọc Tuấn, Hà Nội Nhà xuất bản kim đồng 1996 Y17- AZ2387※ (ヴェトナム)

龍の娘を母とするロン・クアンと山の仙人の娘アウ・コが結婚して百個の卵が生まれ、五十人は父のロン・クアンと海岸で、五十人は母のアウ・コと山地で暮らし、ヴェトナムができたというヴェトナムの建国伝説です。ヴェトナム人は龍の子孫なのです。

15) 龍と7つの月:フィリピン民話

The Dragon and the seven moons : Philippine folktale [by] Joanne De León. English text by Katherine Rollins. Yuko Saito 東京 Shinseken 2003 Y18-B111 (日本)

大昔、月は7つありました。でも、龍が六つまで食べてしまいました。龍が最後の月を食べようとした時、人々が邪魔をして食べられるのを防ぎ、月は残りました。

16) 傷心の画家たち:市井の人々の空想を描いた画家たち

سوته دلان نقاش: نقاشی خیالی ساز مردم کوچه و بازار/هادی سیف
تهران : کانون پرورش فکری کودکان و جوانان
1384[2005or 2006]
Y6-AZ308※★ (イラン)

伝統的なイランの絵画様式のひとつ Tea House Style of Painting (茶館様式画)の作品を集めた本です。書名の「傷心の画家たち」というのは、茶館様式で描いた画家たちの作品はあまり社会的に評価されず、画家としても地位も低かったことからきています。描かれた作品には「王の書(シャー・ナーメ)」から題材をとっているものがたくさんあり、この「ロスタムの龍退治」もそのなかの一つです。イランの英雄ロスタムは国王を救出するために龍退治を含む七つの試練を乗り越えねばなりません。危険な場所とは知らず眠りについたロスタムを龍が襲い、目を覚ましたロスタムと激しい争いになります。

17) カザフスタン民話

Казахские народные сказки Алматы Мектеп 2002 Y8-B3238 (カザフスタン)

「美しいミルジャーンと水底の王国の王」(pp.57-64)は、水底の王様と結婚した美しい娘・ミルジャーンの話です。地上では龍の姿をしている王は水底では絶世の美男子で優しく、ミルジャーンは二人の子どもにも恵まれ、幸せに暮らしていました。しかし、里帰りしたミルジャーンを龍のもとに帰したくない母親は、迎えにきた龍を殺してしまいます。事情を知ったミルジャーンと子どもたちは鳥に姿を変えて飛び去って行きます。

18) 龍の煙への冒険

Dragon's breath adventure/ story by Sandy Rudd ; pictures by John Gibbs. Windhoek, Namibia Build a Book Collective New Namibia Books c1992 Y17-B9211 (ナミビア)

野山を歩き回るのが好きな女の子ナダハファは、ある日、恐ろしい龍が住むという煙が出ている穴に落ちてしまいます。しかし、そこで出会った龍はきれいで楽しい龍でした。ナダハファは龍の友達も紹介され、楽しい時間を過します。穴から煙があがると人々は「龍が怒っているな」と言うのですが、ナダハファは「龍は笑っているよ」と言います。

3 欧州の龍

(ケース3)

19) 神・ソール

Guden Thor/ IbSpang Olsen. [Hillerød] Alma 2004 Y17-B6628 (デンマーク)

ソールは北欧神話の雷の神で、農耕、戦いの神でもあります。本書はソールの生涯のさまざまな出来事を描いています。裏表紙の龍(大蛇)は、ヨルムガントという名前です。ソールは牡牛の頭を餌にヨルムガントを釣り上げ退治します。

20) 胸焼け龍

Dragens halsbrand/ Jørgen Stamp. [Bagsvaerd] Carlsen 2001 Y17-B6621 (デンマーク)

小さな龍のアウグストは喉が痛くてたまりません。誰かに助けてもらおうというろんな動物に訊いて回ります。水に頭をつけたアウグストは寒くなって火を吐きます。そして元気になりました。

21) クルーラ姫と龍

Prinsusse Klura og dragen/ Toemod Haugen ; illustrert av Anders Kaardahl. [Oslo] Gyldendal c2002 Y17-B2894 (ノルウェー)

クルーラ姫は、才能に恵まれ、勇気があり、何も恐れないお姫様です。ある日、龍にとらわれた王子を助けて欲しいとクルーラ姫のところに来ます。王子を助けられるのはクルーラ姫しかいないということで、姫の活躍が始まります。

22) 龍と七人のお姫様

Lohikäärme ja seitsemän prinsessaa / teksti ja sävel, Mikko Perkoila; kuvat, Leena Lumme. Helsinki W. Söderström c2000 Y17-A5496 (フィンランド)

龍に捕らえられたお姫様を王子が救い出し、二人は結婚する・・・というのが昔話のパターンですが、現代の龍はやさしい龍です。お姫様は龍と楽しく遊び、王子たちは龍と戦うことなく、お姫様と結ばれ、めでたしめでたしとなります。シンデレラや白雪姫などがパロディー化されて登場しています。

23) 赤い目のドラゴン

Draken med de röda ögonen / Astrid Lindgren, Ilon Wikland. Stockholm Rabén & Sjögren c 1985, 1999 printing Y17-B1810◆ (スウェーデン)

ブタの赤ちゃんが生まれた朝、ブタ小屋に行ってみたらちいさなドラゴンがいました。手間のかかるドラゴンでしたがなんだか可愛いところがありました。しばらく、一緒に過ごしたドラゴンが空に飛び去った日の夜、私はドラゴンのことをずっと考えていました。

24) 赤ちゃん龍について:詩

Про крошку-дракошку: Стихи / Усачев, А.А. Москва Астрель 2006 Y17-B10883 (ロシア)

赤ちゃんに読んで聞かせる詩の形式の本です。ここで、龍たちが言う「バユー、バーチシカ、バユー」というロシア語は日本語の「ねんねんころりよ」に相当します。なかなか寝ない赤ちゃん龍に、お父さん龍、お母さん龍は寝付かせようとがんばります。近所の龍も巻き込んでやっとなんで寝てくれました。が、こんどは起きようとしません。「もう起きて」とつい叫んでしまいます。

25) 100のお話:ベスト・ウクライナ民話

100 казок: Найкращі українські народні казки Київ А-Б А-Б А-Г А-Л А-МА-Г А c2007 Y17-B10889 (ウクライナ)

「キリロ・コジウムヤカ」(pp.25-27) キリロ・コジウムヤカの龍退治の話です。むかし、キエフに悪い龍がいて、毎年、少年・少女を人身御供として要求し、ついに王女さまが龍のところに送られました。王女さまはとてもいい娘だったので龍も王女さまに心を許すようになります。ある日、王女さまは龍に「あなたを打ち負かせる人はいるの?」と訊くと、ドニエプルに住むキリロ・コジウムヤカだと龍は答えます。王女は鳩を使って王様にこれを伝え、キリロ・コジウムヤカがやって来て龍を退治します。

26) くすぐり龍

Zmaj škakljaj / Koralka Milun ; ilustrirali, Maja Pušić-Čerić i Ranko Čerić. Zagreb Ibis grafika 2007 Y17-B12162 (クロアチア)

洞穴の龍は蟻と知り合い、自分の体を使って音楽演奏をするようになります。演奏で使うしっぽで皆をくすぐるのでこの名前になりました。

27) ヴァヴェルの龍

Smok Wawelski/ [tekst, J.T. ; ilustracje, Przemysław Salamacha]. Poznań Podsiedlik-Raniowski i Spółka [200-?] Y17-A8183 (ポーランド)

クラクフのヴァヴェル城の近くのヴィスワ川のそばに龍が住み、娘を食べていました。靴屋の徒弟のクラクフが一計を案じ、硫黄を入れたヒツジの丸焼きを龍に食べさせます。のどが渴いた龍はヴィスワ川の水を飲みすぎてお腹を破裂させて死にます。ポーランドの人々にもっとも良く知られている龍です。

28) 龍はよそへ

Draakonid võõrsil/ Aino Pervik ; illustreerinud Piret Raud. Tallinn Tiritamm c2002 Y17-B7738 (エストニア)

龍たちが住んでいた山の麓でつまらない理由から戦争が始まり、龍たちはよその国に行って暮らさざるを得なくなります。戦争による難民の運命を子どもたちがわかるように、龍を使って描いた作品です。

(ケース4)

29) 龍のシュシュ

Süsü, a sárkány/ Cukás István ; Füzesi Zsuzsa rajzaival. [Budapest] Gesta könyvkiadó c2003 Y8-B6563 (ハンガリー)

ハンガリーで人気の人形アニメ・シリーズです。心優しい龍のシュシュが国を出てさまざまな冒険ののちに結婚して幸せになる話です。シュシュの子どもが主人公になったシリーズも作られています。

30) 必要なのは龍

Још нам само але фале / Љубивоје Ршумовић ; илустрације Душан Петричић [Београд] РШУМ 2007 Y17-B10672 (セルビア)

龍についての詩を集めてあります。

31) ひとりぼっちの龍

Der einsame Drache : eine Geschichte von Doris Diedrich ; illustriert von Javier Zabala. Zürich Bohem Press c2007 Y17-B9891 (スイス)

丘の上の城に恐ろしい龍が住んでいると聞いて、遊び相手のいないマチアスは龍に会いに行きます。龍は音楽の好きな優しい龍でした。二人は友達になり、龍はマチアスの家で暮らすようになります。町の人々は龍の奏でる音楽を聞き、龍に対する恐怖はなくなりました。龍とマチアスはもうひとりぼっちではありません。

32) 聖ゲオルグと龍:伝説の本

Georg und der Drache : ein Legendenbuch/ erzählt von Max Bolliger ; mit Bildern von Giovanni Manna. Zürich Bohem Press c2005 Y17-B6428 (スイス)

中東、ヨーロッパの伝説を一年の日付順に集めてあります。龍は1月5日「柱頭行者(*苦行の一環として高い柱の上で暮らす行者)・シメオン」、4月23日「聖ゲオルグと龍」に登場します。

33) 龍の本

Das Drachenbuch/ Walter Schmögner. Frankfurt a.M. Insel 1969 Y17-A7867 (ドイツ)

孤児の龍は、友達を欲しがっていました。ある日、動物園で、最も美しい動物コンテストのポスターを見た龍は応募します。さまざまな技を見せた龍は優勝しますが、そればかりでなく多くの友達を得ます。

34) 龍

Ajdar /écrit et illustré par Marjane Satrapi. Paris Nathan c2002 Y17-B3259 (フランス)

賢い王様のもとでみんなが幸せに暮らしている国で、地震が起こります。王様に頼まれたマチルドは地震の原因と思われる龍に会いに行きます。会って話すと龍は背中に痛みがあることがわかり、マチルドは龍の背中を伸ばしてあげます。「アジダル」は、ペルシャ語で「龍」です。作者のサトラピはイラン出身です。

35) 王女と龍と勇敢な騎士

La princesse, le dragon et le chevalier intrépide / Geoffroy de Pennart. [Paris, France] Kaléidoscope c2008 Y17-B12301 (フランス)

悪い龍を退治するのが騎士の務め・・・と思って、龍を退治しようとした騎士。しかし、その龍は王女を助けていたよい龍だったのです。

36) ポケットの中の月の石

Mánasteinar í vasanum/ Brian Pilkington. Reykjavík Mál og menning 2003 Y17-B4904 (アイスランド)

アルダにはデヌスという龍の友達があります。デヌスはアルダの望むように大きくなったり小さくなったりします。デヌスは空も飛べます。アルダはデヌスに月に連れて行ってほしい、月の石をポケットに入れて帰ってきました。

37) お風呂の龍

Um dragão na banheira / texto de Tiago Salgueiro ; ilustrações de José Manuel Saraiva. Vila Nova de Gaia Gailivro 2004 Y17-B7030 (ポルトガル)

ある日、Anaのお父さんがお風呂の蛇口をひねると、海の龍が現れました。龍はJupoと名付けられ、一家と一緒に住みはじめます。Jupoはいたずら好きだけど、Anaの夢に出てくる悪いオオカミからAnaと一緒に逃げてくれるし、寝る前におはなしもしてくれます。一緒に想像上の冒険をして遊んでくれる楽しい龍です。

38) 魔女リエンと龍の涙

Heksellen en de drakentranen / An Melis. Waasmunster Abimo c2005 Y17-B6871 (ベルギー)

魔女たちの二日酔いには龍の涙が効くとのことで、魔女リエンは龍を探します。探し当てた龍は優しい龍で涙をくれました。魔女たちは龍のために宴会を開きます。

4 英米の龍

39) 龍の子ラッキーと音楽師

The minstrel and the dragon pup/ written by Rosemary Sutcliff ; illustrated by Emma Chichester Clark. London Walker Books 1993 Y17-A1950◆ (イギリス)

旅の音楽師は海岸で卵を見つけます。卵からは小さな龍が生まれ、ラッキーと名付けられます。ラッキーと音楽師は友達になりますが、ある日、ラッキーがいなくなってしまう。ラッキーは珍獣を集めるのが趣味の王様の庭にいました。王子の病気を治した音楽師は、無事ラッキーを取り戻します。

40) 風邪ひき龍

The dragon's cold/ written and illustrated by John Talbot. London Walker Books 1988 Y17-A7802 (イギリス)

主人公の龍は風邪をひいて火を吐けなくなったために龍の家族や友達から遠ざけられ、鼻水を出しながら村はずれにさびしく潜んでいましたが、村の子どもたちに救われます。元気になった龍は火を吐いて村の古いボイラーの代わりになります。

41) ハムの農夫ジャイルズ

Farmer Giles of Ham / by J.R.R. Tolkien ; embellished by Pauline Diana Baynes ; edited by Christina Scull, Wayne G. Hammond. London HarperCollins Publishers 1999 Y8-A5382 (イギリス)

ハム村の農夫ジャイルズが龍や巨人と戦ったりする話です。作者のトルキンが長編『指輪物語』にもたくさんの龍を登場させています。

42) 龍の眼

Eyes of the dragon / by Margaret Leaf ; illustrated by Ed Young. New York Lothrop, Lee & Shepard Books c1987 Y17-A421 (アメリカ)

山の村には獣や外敵から村を守るための城壁がありました。村長はこの城壁に龍の絵を描くことを思いつき、画家に頼みます。龍の絵を描いた画家は目を入れれないと言いますが、村長は目を入れさせます。目の入った龍は城壁から抜けて去り、城壁はばらばらになります。

43) 龍の歌: 新世紀への寓話

Dragonsong : a fable for the new millennium/ written by Russell Young ; illustrated by Civi Cheng. Fremont, Calif. Shen's Books c2000 Y17-B9427 (アメリカ)

小さな龍のチャンアンは自分の住む山の守り龍になるため、村の人々にすばらしい贈物を贈らなければならなくなりました。チャンアンは世界を旅してすばらしい贈物を見つけます。

44) 紙の龍

The paper dragon / by Marguerite W. Davol ; illustrated by Robert Sabuda. New York Atheneum Books For Young Readers c1997 Y17-A6306 (アメリカ)

山で長いこと眠っていた龍が目覚めて村は危機に陥ります。村の絵師が龍の出した三つの難問を解くと、恐ろしい龍は紙の小さな龍に変わります。

45) ぞっとする龍

The loathsome dragon / retold by David Wiesner & Kim Kahng. New York Clarion Books c2005 Y17-B9060 (アメリカ)

イギリスのノーサンバーランドの醜い龍の話です。王女マーガレットは、悪い魔女の継母のためにぞっとするような醜い龍に変えられてしまいますが、兄のリチャード王子に助けられてもとの姿に戻ることができました。

46) 龍なんてものはいないわよ

There's no such thing as a dragon / Jack Kent. New York Golden Books c1975 Y17-B545 (アメリカ)

ある日、ビリーの部屋に小さな龍が出現します。しかし、お母さんは「龍なんてものはいないわよ」と無視するばかり。龍はだんだんと大きくなり、家を動かすほどになります。お母さんが龍を無視しなくなったとき、龍はもとの大きさに戻ります。